

各 位



2019年6月24日

会社名 日本ギア工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 寺田 治夫
(コード番号: 6356 東証1部)
問合せ先 取締役管理部長 林 秀樹
(TEL 0466-45-2100)

(訂正・数値データ訂正) 2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)の一部訂正について

2019年5月10日付で発表いたしました「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載内容において、一部訂正がありましたので下記のとおりお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。なお、訂正箇所は下線にて表示しております。

記

【サマリー情報】

<訂正前>

1. 2019年3月期の業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	11,141	7,868	70.5	553.61
2018年3月期	10,564	7,704	72.8	<u>542.97</u>

(参考) 自己資本 2019年3月期 7,855百万円 2018年3月期 7,696百万円

<訂正後>

1. 2019年3月期の業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	11,141	7,868	70.5	553.61
2018年3月期	10,564	7,704	72.8	<u>542.36</u>

(参考) 自己資本 2019年3月期 7,855百万円 2018年3月期 7,696百万円

【財務諸表に関する注記事項】

(損益計算書関係) (15 ページ)

<訂正前>

※2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

前事業年度 (自 2017年4月 1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月 1日 至 2019年3月31日)
140,407千円	<u>74,540千円</u>

<訂正後>

※2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
140,407千円	<u>69,843</u> 千円

(セグメント情報等) (23 ページ)

<訂正前>

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	5,132,186	2,257,983	7,390,170
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,132,186	2,257,983	7,390,170
セグメント利益又は損失 (△)	△175,453	466,804	291,351
セグメント資産	2,771,073	860,294	3,631,367
その他の項目			
減価償却費	<u>145,639</u>	<u>15,868</u>	<u>161,508</u>
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	365,481	11,915	377,397

(注) セグメント利益又は損失 (△) の合計は、損益計算書の営業利益と一致しております。

当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	5,540,072	1,853,803	7,393,876
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,540,072	1,853,803	7,393,876
セグメント利益	<u>255,020</u>	<u>206,098</u>	461,119
セグメント資産	<u>2,616,241</u>	881,330	<u>3,497,572</u>
その他の項目			
減価償却費	<u>175,329</u>	<u>35,109</u>	<u>201,439</u>
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	433,845	5,988	439,833

(注) セグメント利益の合計は、損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	3,631,367	<u>3,497,572</u>
「その他」の区分の資産	—	—
全社資産（注）	<u>7,034,235</u>	<u>7,643,726</u>
財務諸表の資産合計	<u>10,665,603</u>	11,141,298

（注）各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは当社の現金及び預金及び管理部門に係る資産等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
減価償却費	<u>161,508</u>	<u>201,439</u>	<u>42,118</u>	<u>42,940</u>	<u>203,626</u>	<u>244,379</u>
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	377,397	439,833	168,606	201,968	546,004	641,802

（注）1. 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社管理部門に係る設備投資額であります。

<訂正後>

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前事業年度（自 2017 年 4 月 1 日 至 2018 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	5,132,186	2,257,983	7,390,170
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,132,186	2,257,983	7,390,170
セグメント利益又は損失（△）	△175,453	466,804	291,351
セグメント資産	2,771,073	860,294	3,631,367
その他の項目			
減価償却費	<u>179,453</u>	<u>24,173</u>	<u>203,626</u>
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	365,481	11,915	377,397

（注）1. セグメント利益又は損失（△）の合計は、損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメントに対する固定資産の配分基準と関連する減価償却費の配分基準が異なっております。

当事業年度（自 2018 年 4 月 1 日 至 2019 年 3 月 31 日）

（単位：千円）

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
外部顧客への売上高	5,540,072	1,853,803	7,393,876
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	5,540,072	1,853,803	7,393,876
セグメント利益	<u>251,183</u>	<u>209,935</u>	461,119
セグメント資産	<u>2,698,148</u>	881,330	<u>3,579,478</u>
その他の項目			
減価償却費	<u>202,067</u>	<u>42,312</u>	<u>244,379</u>
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	433,845	5,988	439,833

(注) 1. セグメント利益の合計は、損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメントに対する固定資産の配分基準と関連する減価償却費の配分基準が異なっております。

4. 報告セグメント合計額と財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

資産	前事業年度	当事業年度
報告セグメント計	3,631,367	<u>3,579,478</u>
「その他」の区分の資産	—	—
全社資産（注）	<u>6,933,432</u>	<u>7,561,819</u>
財務諸表の資産合計	<u>10,564,799</u>	11,141,298

(注) 各報告セグメントに配分していない全社資産であり、その主なものは当社の現金及び預金及び管理部門に係る資産等であります。

（単位：千円）

その他の項目	報告セグメント計		調整額		財務諸表計上額	
	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度	前事業年度	当事業年度
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	377,397	439,833	168,606	201,968	546,004	641,802

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社管理部門に係る設備投資額であります。

5. 報告セグメントの変更に関する事項

（事業セグメント利益の測定方法の変更）

当事業年度より、社内の管理手法の変更に伴い、「工事業」に区分していた一部の売上高を「歯車及び歯車装置事業」へ変更しております。これにより、従来の方法に比べ当事業年度のセグメント利益（営業利益）は、「工事業」において 185,360 千円減少し、「歯車及び歯車装置事業」において 185,360 千円増加しております。

以上